

いつか誰かのために ⑥



夫とふたりで症状に合わせて100均グッズなどで工夫するのが楽しみでした。

早田香代子（豊中市・遺族）

「食べること」

～～ 簡単軽くて持ちやすく使いやすいスプーン ～～

以前、会報誌No.88・No.95にて掲載していただいたスプーンですが、アイデアグッズをご存じない方から「自分の手で食べたい」、「軽くて落ちないスプーンが欲しい」という相談を受け、実際に使っていただき、感想をいただくことができましたので、紹介させていただきます

- ① ホームセンターで購入した木製の筒にスプーン・フォークを差し込み、結束バンドでリングを取り付ける（会報誌No.88）。



② スプーンにタコ糸を巻きリングを取り付けて、指を固定する（会報誌No.88）



③ タピオカストローにスプーンを差し込む。指は輪ゴムで固定する

（会報誌No.95）



～ タピオカスプーンを使って食事をされた方の感想 ～

Nさん (ALS 当事者 男性)

通常のスプーンでは重さにより食材をうまくすくえず、口まで運ぶのに時間もかかり、疲れも出ていました。しかし、プラスチックスプーンを大口径ストロー（タピオカストロー）に差し込んだスプーンは軽量で、ストローを上下することで長さを調整し、食材を口に運ぶことができました。

上肢障がい者にとって非常に便利なアイテムです。



Nさんご家族の声

タピオカストローにプラスチックスプーンを差し込むアイデアにすごく驚きました！

実際に使用してみて、食べる動作は、かなり楽になり、アームバランサーとストロースプーンで自力摂取ができて、本当に助かり、うれしく思っております。

60代男性（パーキンソン病）

知人の鍼灸師の先生より「今、治療にうかがっている患者さんが介護用スプーンを使っているが、スプーンが落ちたり、うまく口に運べないので、何か良い方法はないでしょうか？」と相談を受けたので、タピオカスプーンを使ってもらうことにしました。しかし指をゴムで留めてもスプーンが反り返ってしまうので、うまく使えないとのこと。そこで②のタコ糸スプーンに、リングを両方に取り付け、親指と中指を入れて、人差し指はスプーンに添える形に改良してお渡ししました。

かなり使えると返事をいただいていたのですが、病気からくる腕の震え・座位の保持が難しく、自力での食事は難しくなったとの回答をいただきました。



自分で食べることは一番大切なことと思います。

病気の進行により難しくなりますが、いろいろと工夫して食べて欲しいと思っておりますので、ぜひ一度試してみてください。